



化学物質等安全データシート



1. 化学物質等及び会社情報

法人名 : 独立行政法人 産業技術総合研究所
住所 : 茨城県つくば市梅園 1-1-1
担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準管理センター 標準物質認証管理室
担当者 : 認証標準物質担当
電話番号 : 029-861-4059 ファックス番号 : 029-861-4009
緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2007年8月29日

整理番号 : 5005001

化学物質等の名称 : 認証標準物質 NMIJ CRM 5005-a ポリエチレングリコール 400
Poly(ethylene glycol) 400

2. 危険有害性情報の要約

GHS分類 : 皮膚腐食性/刺激性 : 区分3
目に対する重篤な損傷性/目刺激性 : 区分2B

GHSラベル要素 : -

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 眼への刺激性
軽度の皮膚刺激

その他の有害性情報 : 通常の手扱いは危険性は低い。
大量に摂取すると有害である。
可燃性がある。

注意書き :

[予防策]

可燃性があるので、火気には注意する。

酸化剤との接触を避ける。

[対応]

飲み込んだ場合 : 大量の水を飲ませ吐かせる。医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

取り扱った後、手を洗うこと。

眼の刺激が続く場合、皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診断/手当てを受けること。

[保管]

遮光し、25℃以下で清浄な場所に保存する。長期保存の場合は、5℃以下での冷蔵保存を推奨する。

[廃棄]

都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

上記に記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。



3. 組成、成分情報

単一製品 混合物の区別 : 単一製品
化学名 : ポリエチレングリコール
別名 : ポリオキシエチレン
化学式又は構造式 : $\text{HO}(-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{O})_i\text{H}$ (i は重合度)
含有量

本標準物質中に含まれる各重合度成分の重合度、分子量の認証値は以下の通りである。

重合度 I	分子量 M_i
5	238.28
6	282.33
7	326.38
8	370.44
9	414.49
10	458.54
11	502.60
12	546.65
13	590.70
14	634.75
15	678.81
16	722.86
17	766.91
18	810.97

本標準物質の重量平均分子量 M_w 、数平均分子量 M_n の認証値は以下の通りである。

	認証値	拡張不確かさ ($k = 2$)
M_w	431.2	5.7
M_n	409.9	4.4

官報公示整理番号 : 化審法 : 7-129
CAS 番号 : 25322-68-3

4. 応急措置

眼に入った場合 : 清浄な水で十分に洗い流す。医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 : 清浄な水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴等は脱がせ、医師の診断を受ける。
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努める。医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 : 水または食塩水を飲ませて吐かせる。意識のない場合は何も与えない。医師に連絡する。
予想される急性症状 : -
及び遅発性症状 : -
最も重要な特徴 : -



及び症状

応急処置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水。
火災時の特有危険有害性 : 一般的な環境下では、着火または引火の危険性はない。
燃焼ガスには一酸化炭素やNOx、CNなどが含まれるので、可能な限り風上から消火を行い、吸入しないようにする。
特有の消火方法 : 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。
消火を行う者の保護 : 防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和 : 漏出した液は、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策 : -

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 火気厳禁。
高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。
局所排気・全体換気 : 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
安全取扱注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
使用後は容器を密閉する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいならない。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れたりしないように、適切な保護具を着用する。



保管

- 適切な保管条件 : 遮光し、25 °C以下で清浄な場所に保存する。長期保存の場合は、5 °C以下での冷蔵保存を推奨する。
- 安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. 暴露防止及び保護措置

安全管理上の留意事項

設定されていない

許容濃度

設定されていない

設備対策

◇貯蔵上の注意

- ・密封された状態で遮光し、室温の清浄な場所に保存する。
- ・粉塵が発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。

保護具

- ・保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型）、保護衣。

9. 物理的及び化学的性質

- ・外観等 : 液体
- ・色 : 無色
- ・pH : データなし
- ・密度 : データなし
- ・融点 : データなし
- ・引火点 : データなし
- ・発火点 : データなし
- ・溶解度 : データなし

10. 安定性及び反応性

◇安定性

- ・データなし

◇反応性

- ・データなし

◇避けるべき条件

- ・日光、熱、裸火、高温、スパーク、静電気、その他発火源。

◇危険有害な分解生成物

- ・一酸化炭素

11. 有害性情報

- 急性毒性 静脈 ネコ TDLo : 1000 mg/kg (RTECS)
- 皮膚腐食性/刺激性 皮膚刺激性 ウサギ 500 mg/24H 軽度 (RTECS)
- 目に対する重篤な損傷性 目刺激 ウサギ 500 mg/24H 軽度 (RTECS)



／目刺激性

12. 環境影響情報

分解性・濃縮性

分解度：56 % by BOD (n= 4) (経産省既存化学物質安全性点検)

分解度：53 % by BOD (n=10) (経産省既存化学物質安全性点検)

生態蓄積性

データなし

生態毒性

データなし

13. 廃棄上の注意

焼却法：可燃性溶剤に溶解し、スクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧して焼却する。
これを含む排水は、活性汚泥法等の処理により清浄してから排水する。

14. 輸送上の注意

国連番号：非該当

国連分類：非該当

品名：-

注意事項：直射日光を避け、落下、転倒等による漏洩及び火気に十分注意し、慎重に運搬する。遮光。25℃以下。

15. 適用法令

◇消防法

・危険物第4類 第4石油類 危険等級Ⅲ

16. その他の情報

引用文献

・労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ (改訂第2版)、化学工業日報社 (2007)

・化学大辞典 共立出版 (1993)

・14303の化学商品 化学工業日報社 (2003)

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。
